

## 作左の会 視察研修旅行開催

作左の会、恒例となった視察研修 ました。

修旅行が去る六月一日(土)に 城外では、ボランティアの方に  
浜松城公園・中村家住宅視察と 石垣の作り、城の守り等、事細  
題して行われました。 かに説明を受け当時の考えの深

当日は曇り空ではあったが、別 さに感心するだけです。  
名、出世城とも言われている浜 松城めざし参加者の願い(・・・)  
を乗せてバスは一路浜松へ。

また、車内では予備知識として  
浜松城と中村家住宅について、横  
山茂様から説明を受け短時間で  
はあったが知識を頭に詰め込み  
目的地到着まで整理し戦国時代  
の政治・歴史的背景を受け止め



浜松城天守閣前にて

説明する方も城外、城内と別康(が生まれ、育てられたのも、  
れていて内部では子供ボランティアこの中村家住宅である。  
IAも活躍していました。 重要文化財に指定されている

二時間位では少し物足りないのは主屋である。  
ようではあったが次の目的地へ。 歴史の一端を感じて帰途につ

中村家住宅は昼食後と言う事いた。

で取り合えず昼食場所へ、参加  
者期待のうなぎ弁当を堪能し、  
心身ともに癒して午後の行程に  
入りました。

中村家の初代中村正範は源範  
頼の末裔の武士で、十六世紀の

今川氏の時代には、同氏の家臣  
で代官を勤め、浜名湖の軍船を  
支配した。その後徳川家康が

遠江に入国した時、船を出して  
迎えて御用を果たし、徳川氏の  
兵糧奉行や代官を勤めていた。

家康側室お万の方が身ごもつ  
た時、作左のはからいでこの中

村家にて於義丸(後の結城秀



ガイドの説明を聞く見学者



中村家住宅の主屋